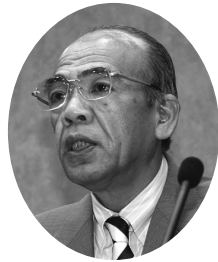


一般質問

市政を問う



より積極的な雇用の創出を



石橋 達八 議員 (無会派)

離職者対策、雇用創出は

問 経済不況で市の地域経済も大きな打撃を受けていると思う。市内経済の現状及び離職者、雇用対策、政府が講じる経済危機対策に連動した取り組みはどう

答 市内製造業者の今年2月、3月期の生産ラインの稼動状況は、ピーク時の40%から50%程度と低調に推移している。市街地の中心核店舗でも売り上げが同期、前年比11.74%減少と厳しい状況にある。また、新規求人がない状態にあり、特に製造業の求人

は皆無に等しく雇用情勢はまだまだ厳しい状況が続くと思われる。市の雇用対策では、昨年12月から地域連携雇用創出推進本部を設置し、雇用に関する情報共有、雇用相談、企業への雇用創出は、43名になっている。また、平成21年度当初予算では44名を計画している。6月定例会では、介護、福祉、子育て、産業、情報通信分野で13名の雇用

を目標に雇用促進を図りたい。ただこの目標で満足というものでなく、「市独自の就労先の創出」についても検討をしたい。政府の地域活性化・経済危機対策臨時交付金が5億円交付される見込みである。現在事業化に向け検討中であるが、市民が喜ぶ、地域経済が潤う事業に積極的に取り組んでいく。



浅沼 幸雄 議員 (正心会)

四年間の評価と立候補にあたっての政治姿勢は

問 新遠野市初代市長としての4年間をどのように評価されるのか。
答 合併協定項目については、全119事業中、115事業の調整が完了し、残り4事業

完結する予定である。また、前期基本計画に位置づけた140事業のうち、平成21年度までの着手は130事業となり、着実な事業の進展が図られている。このように遠野市に山積していた課題を、身の丈の中から知恵と工夫をもって職員と共に一丸となっ

て解決に取り組んできたと認識している。
問 今秋の市長選挙立候補表明に当たっての政治姿勢は。
答 これまでの成果とさまざまな教訓を踏まえ、

- ① 農林水畜産業を中心とした一次産業の振興と商工業の活性化
- ② 福祉・医療・保健一体となった介護の充実と健康づくりの推進
- ③ 地理的条件を最大限に活かした「連携と交流」の推進を図り「遠野広域経済圏」構想の具現化
- ④ 中心市街地の賑わいと空間の整備促進
- ⑤ 生活に身近な道路、水路、汚水処理等生活環境の整備
- ⑥ 第三セクターを含め、行財政の健全化と改革の見直し、改革の推進
- ⑦ 身の丈にあった行財政運営と、進化する「遠野スタ

イル」による地域づくりの展開に取り組んでいく。
■その他の質問
第三セクターの現状と今後について